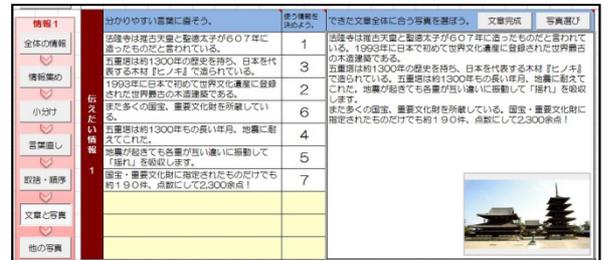


1 単 元 修学旅行のよさを伝えるパンフレットを作ろう

2 情報の交流を行う場面

情報を加工する場面において、3人のグループで、集めた情報を取捨選択したり、分かりやすい言葉になっているかを吟味したりする。また、文の順序を見直したり、文章に合った写真を選択したりするなど、友達と意見を伝え合いながら情報を分析・整理する。

自作のコンピュータソフトを使うことで、パンフレットの製作にかかる時間を短縮し、情報の交流や分析・整理にかかる時間を多く確保する。



パンフレットを作成する自作ソフトの画面（写真選び）

3 情報の交流により期待される効果

収集した情報をそのまま使うのではなく、友達と話し合いながら分析・整理することで、自分の言葉で思いを伝えるパンフレットを作成することができる。

4 指導計画（12時間完了）

活動計画		評価計画		
学習内容		時数	学習活動における評価基準	評価の方法
収集	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行の目的を考える。 調べ学習の見通しを立てる中で、パンフレットのよさに気付く。 インターネットを使って必要な情報を収集する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行の目的を考えたり、パンフレットのよさに気付いたりすることができる。（課題設定の能力） インターネットを使って、修学旅行先の情報を収集することができる。（情報の収集） 	学習プリント コンピュータ上の学習シート
	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータソフトを使って、情報を分析・整理する。 	4 本時 2/4	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報を分析・整理して、分かりやすくパンフレットにまとめることができる。（情報の分析・整理） 	コンピュータ上の学習シート パンフレット
分析・整理	<ul style="list-style-type: none"> 作成したパンフレットをもとにグループで検討し、情報を再び分析・整理する。 	2	<ul style="list-style-type: none"> グループで検討したことをもとに、情報を再び分析・整理して、パンフレットを分かりやすく改善することができる。（情報の分析・整理） 	コンピュータ上の学習シート パンフレット
	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループに作成したパンフレットを紹介する。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手を意識しながら、パンフレットの内容を分かりやすく紹介することができる。（情報の発信） 	パンフレット 行動観察
発信	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループからの助言をもとにパンフレットを改善する。 	2	<ul style="list-style-type: none"> 他グループからの助言をもとに、情報を再び分析・整理して、パンフレットをさらに分かりやすく改善することができる。（情報の分析・整理） 	コンピュータ上の学習シート パンフレット

5 本時の指導

(1) 目標

- コンピュータソフトを使って、インターネットにより収集した情報から、情報を選択する観

点（場所や人物の名前，数字といった言葉）に従って，パンフレットに載せる情報だけを取捨選択することができる。【コンピュータ上の学習シート】（情報の分析・整理）

(2) 準備

教師：パンフレット，コンピュータ，プロジェクタ，ヒント用のキーワード一覧

子ども：コンピュータ，学習シート（自作のコンピュータソフト）

(3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点	評価の観点と方法
4分	1 前時の学習を振り返り，本時の学習のめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前にコンピュータおよびソフトを立ち上げ，前時の学習シートの画面を表示しておく。 ○ 前時までに作成した学習シートを実際に見るように指示することで，前時の活動を想起させる。 ○ 収集したすべての情報をそのままパンフレットにしたものを見せることで，情報が多すぎることに気付かせる。 ○ 学習のめあてを黒板に提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習のめあてをつかむことができたか，挙手や子どもの様子からとらえる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><学習のめあて></p> <p>集めた情報から，パンフレットにのせる情報を選んで決定しよう。</p> </div>			
15分	2 教師が準備した情報から，必要な情報だけを取捨選択する活動を行う。 以下の二つの観点をもとに必要な情報だけを抜き出す。 【観点1】場所や人物の名前 【観点2】数字	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が操作する画面を大きく提示しておく。 ○ みんなで一文ずつ読みながら，場所や人物の名前，数字を見付けさせる。 ○ 教師の操作を見ながら自分で操作させることで，見付けた名前や数字が含まれる部分を抜き出して，短い文にまとめるやり方およびコンピュータ操作に慣れさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「場所や人物の名前」「数字」という二つの観点をもとに，必要な情報を選ぶことができたか，発言や子どもの様子からとらえる。
22分	3 自分が収集した情報から，必要な情報だけを取捨選択し，文章を短くする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先ほどの活動で取捨選択する前と後の情報（もとの長い文章と短くなった文章）を大きく提示しておくことで，どのように取捨選択したかをいつでも振り返って参考にできるようにする。 ○ 机間指導を行い，情報を選択決定できていることを認めて自信をもたせたり，活動が進まない子どもに助言をしたりする。 ★ 場所や人物の名前を見付けられない子どもには，一緒に文章を読みながら名前を見付け，その文字色を変えることにより，色が変わった部分を選ぶとよいことを助言する。 ★ 場所や人物の名前を見付けられない子どもが多い場合には，教師があらかじめ子どもが収集した情報から抜き出しておいた場所や人物の名前の一覧を渡し，一覧に載っている名前を選ぶとよいことを助言する。 ★ 場所や人物の名前を見付けることができているが文章が短くなっていない子どもには，句読点で切ったり，どちらの文にたくさ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が収集した情報から，「場所や人物の名前」「数字」という観点をもとに，必要な情報だけを選び，決定することができたか，コンピュータ上の学習シートの記入内容からとらえる。

3分	4 本時の学習のまとめをする。	ん名前や数字があるかを比較させたりして短くすればよいことを助言する。 ○ 2～3名の子どもを指名し、収集した情報からいくつかの情報を選択・決定することができたかを発表させる。 ○ 学級全体に対して、学習のめあてを振り返らせ、情報を選択・決定することができたかを確認する。	○ 学習のめあてを振り返って、自分の学習を確認できているか、子どもの様子からつかむ。
1分	5 次時の予告を聞く。	○ 今日選択・決定した情報の中で、難しい言葉が使われているところに着目し、より分かりやすい言葉に直していくといった学習を行うことを知らせる。	

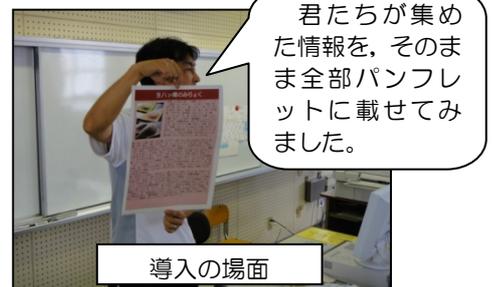
6 実践の様子

本時の学習のめあてを知る場面では、教師が収集したすべての情報をそのままパンフレットにしたものを見せた。この提示されたパンフレットを見て、「字が多すぎる。」「文が長くて読みたくない。」と情報が多すぎることに気付くことができた。

教師が準備した情報から、必要な情報だけを取捨選択する活動を行う場面では、①「場所や人物の名前」②「数字」という二つの観点を基に必要な情報だけを抜き出す活動を行った。大きく提示された画面で、教師の操作を見ながら、自分たちで操作することができた。みんなで一文ずつ読みながら、「ここに名前がある。」「この西暦も数字だよ。」といったように、「場所や人物の名前」「数字」という二つの観点到に着目して、活動を進めることができた。

実際に自分が収集した情報から、必要な情報だけを取捨選択する場面では、先ほどの活動と同じ二つの観点を基に、文章を短くする活動を行った。「ここに数字があるから残そう。」「『聖武天皇』は絶対必要だよ。」といったように、「場所や人物の名前」「数字」という観点を基に、友達と相談しながら必要な情報を選ぶ様子が見られた。また、「これは名前なのかな。」と、自分の知らない場所や人物の名前を見付けてとまどう子どもがいたので、「自分の知らない名前は必要な情報としなくていいよ。」と助言した。また、「必要な情報と必要でない情報が両方あったらどうすればいいのかな。」と、とまどう子どももいた。

本時の学習のまとめをする場面では、「収集した情報からいくつかの情報を抜き出すことができたかな。」と聞くと、「二つ」「三つ」といったように、多くの子どもが情報を選択・決定することができた。



7 成果と課題

- 実際に自分で取捨選択する前に、教師が準備した情報を使って、教師が操作する画面を見ながら、一緒に取捨選択する練習を行った。これにより、「場所や人物の名前」「数字」という二つの観点を基に、必要な情報だけを抜き出す方法およびそのコンピュータ操作を学ぶことができた。
- 必要な情報を抜き出す練習をしたことにより、「場所や人物の名前」「数字」という二つの観点に着目し、自分が収集した情報から必要な情報を選び、決定することができた。
- 自分が伝えたい情報であるかどうかを考えずに、情報を抜き出している子どもがいた。「パンフレットで伝えたいことは何か」という課題意識を明確にして活動に取り組みさせる必要があった。
- 「場所や人物の名前」として、自分の知らない情報がたくさん含まれており、必要な情報かどうかとまどう場面があった。判断基準として、自分が一番伝えたいことに関わっている情報かどうかを吟味する時間を設定すべきであった。